

夏季県高校野球大会



【八学光星—青森工】2回表、八学光星無死二、三塁、田中が右翼席に3点本塁打を放ち、8点目。捕手・横内（青森工）＝六戸メイブル

打撃戦 光星ダメ押し
青工猛追10点あと一歩

【評】八学光星は4安打4打点の田中など強力で大量リード。投手陣の乱れや守備のミスで1点差に迫られたものの、試合終盤に代打大橋が3点本塁打で流れを引き寄せると、6得点を挙げて8回コールド勝ちした。

青森工は二回と四回の猛攻で追い上げたが、五回以降立ち直った八学光星の3番手・主戦森木に抑え込まれた。

代打大橋が3ラン

○：八学光星は序盤で9点差をつけながら、守備のミスや投手陣の乱れから四回までに10失点。嫌な流れが続いて迎えた八回1死二、三塁の場面、代打大橋が3点本塁打を放ち、勝利を一気に引き寄せた。

4月に腰の疲労骨折が再発した大橋、控えに回ったが、「流れが劣勢のときは頼む」と、監督か

らの信頼を受けて送り出るスライアートを振り抜く場面で見事に応えとされた。狙い球を変化球で打球は左翼スタンドへ。仲井監督は「勝負すてくれた」とたたえた。